

古語

ことわざの学習 1

年

名前

1

①から④の意味のことわざを、
□から選び、□に書きましょう。

① つらくてもしんぼうして続ければ、成功する。

② 人生では、成功も失敗もある。失敗してもあきらめずに努力せよ。

③ 原因をつくらなければ、結果は生じない。

④ あわてず、確実な方法をとるほうがよい。

負けるが勝ち

まかぬ種は生えぬ

七転び八起き

石の上にも三年

急がば回れ

つめに火をともす

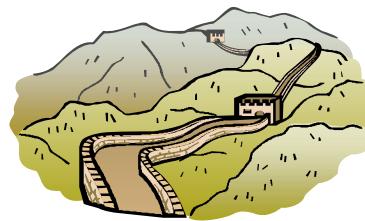
2 () の中に漢数字を書き入れて、ことわざを完成しましょう。

① () 里の道も () 歩より

② () 寸の虫にも () 分の魂

③ () 聞は () 見にしかず

④ () 鬼追う者は、() 鬼も得ず



3 ①から④までのことわざと、よく似た意味に使われていることわざをA～Dの中から選び、線で結びましょう。

① 弘法にも筆の誤り A ぬかにくぎ

② 石橋をたたいて渡る B 三つ子の魂百まで

③ すづめ百まで踊り忘れず C さるも木から落ちる

④ のれんに腕押し D 念には念を入れよ

1

①から④の意味のことわざを、
□から選び、□に書きましょう。

① つらくてもしんぼうして続ければ、成功する。

石の上にも三年

② 人生では、成功も失敗もある。失敗してもあきらめずに努力せよ。

七転び八起き

③ 原因をつらなければ、結果は生じない。

まかぬ種は生えぬ

④ あわてず、確実な方法をとるほうがよい。

急がば回れ

負けるが勝ち

まかぬ種は生えぬ

七転び八起き

石の上にも三年

急がば回れ

つめに火をともす

2

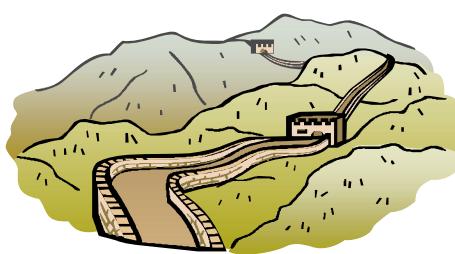
(　　)の中に漢数字を書き入れて、ことわざを完成しましょう。

① (千) 里の道も (一) 歩より

② (一) 寸の虫にも (五) 分の魂

③ (百) 聞は (一) 見にしかず

④ (二) 兎追う者は、(一) 兎も得ず



[3] ①から④までのことわざと、よく似た意味に使われていることわざをA～Dの中から選び、線で結びましょう。

① 弘法にも筆の誤り

A 三つ子の魂百まで

② 石橋をたたいて渡る

B ぬかにくぎ

③ すづめ百まで踊り忘れず

C さるも木から落ちる

④ のれんに腕押し

D 念には念を入れよ

1 ことわざの意味を理解しましょう。

- ① 石の上にも三年……「らくでもしんぼうして続ければ、成功する二年すれば石も暖まる」とから、しんぼうして続ければ成功するという意味を表した。

- ② 七転び八起き……人生では、成功も失敗もある。失敗してもあきらめずに努力せよ。
・七度転んでも、八度起き上がる」とから、あきらめないとの大切さを教えている。

- ③ まかぬ種は生えぬ……原因をつくなれば、結果は生じない。
・種をまかなければ何も生えないことから、何もしなければよい結果は生まれないという意味を表している。

- ④ 急がば回れ……あわてず、確実な方法をとるほうがよい。
・危ない近道よりも、安全な道を回る方がかえって確実に着くことから、急いでいるときこそ、確実な方法をとるほうがよいことを表している。

2 漢数字を使ったことわざに親しみましょう。

- ① 千里の道も一步より
・遠い道も一步から始まる。小さな一步を積み重ねよう。
- ② 一寸の虫にも五分の魂
・どんなに小さく弱い者も、あなどってはいけない。
- ③ 百聞は一見にしかず
・話を何度も聞くよりも、自分の目で見た方が分かる。
- ④ 二兎追う者は、一兎も得ず
・同時に二つを得ようとしても、結局できない。

3 ことわざの意味を考え、同じような意味をもつことわざを見つけましょう。

① 「弘法にも筆の誤り」と「さるもの木から落ちる」

・どんなに上手でも、ときには失敗することがある。

② 「石橋をたたいて渡る」と「念には念を入れよ」

・用心した上にさらに用心せよ。

③ 「すずめ百まで踊り忘れず」と「三つ子の魂百まで」

・小さいころから身につけた性質は、改めにくい。

④ 「のれんに腕押し」と「ぬかにくぎ」

・努力しても、手こたえがない。



※ 漢数字を使ったことわざは、他にもたくさんあります。調べてみましょう。

ほとけ
仏の顔も二度
一事が万事
一矢報いる

※ 同じような意味を持つことわざが他にもないか調べてみましょう。



あぶはち
虻蜂取らず

二兎追う者は、一兎も得ず